

グループホーム利用者入院時の居室確保に関するアンケート結果について

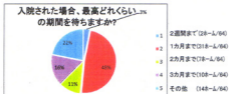
一般社団法人 山口県宅老所・グループホーム協会
調査研究部長 藤本 雅弘



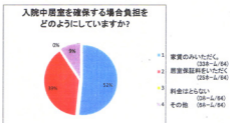
謹啓

時下、ますますご美祥のこととお喜び申し上げます。
さて、山口県GH協(調査研究部)では、このたび、グループホーム利用者が入院された時に、「居室の確保についてどれくらいの期間、退院を待っているか?」、又、「その間の費用負担をどのようにしているか?」、について、会員対象にアンケート調査を行いました。会員の皆様におかれましては、業務でお忙しい中、アンケートに御協力ください、誠にありがとうございました。
おかげ様をもちまして、会員118ホームの内、半数を超える64ホームから回答を頂きました。つきましては、以下にアンケートの結果をご報告いたしますので、貴ホームの運営の参考になりましたら幸いです。
調査研究部では、今後も、山口県内のグループホームが置かれている状況について、広く調査を行っていきますので、どうぞ御協力いただけますよう、お願い申し上げます。
敬具

有効回答率 54.2% (64ホーム/118会員ホーム)



その他の内容: 家族の意向に従う...4 無期限...1 基本期間と最大期間の幅が有...9



その他の内容: 家賃+管理費...2 実費のみ...2 家賃+1万円...1 光熱水費のみ...1

アンケートに御協力、ありがとうございました。